

情報教育の実践

守谷市立松ヶ丘小学校

1 情報スキルに関する取組

情報スキルに関する取組として、守谷市小中一貫情報教育年間指導計画に記載される内容を中心に各学年で習得を図った。その中で、総合的な学習の時間でコンピュータを使い始める3年生では、ポケモンのタイピングソフトでのローマ字打ちの学習から始まり、実際調べた内容をスタディノートに作成するなど、ステップを踏んだ学習を通して、情報スキルの基礎的な力を付けてきた。また、5年生では、国語の物語文教材「大造じいさんとがん」の単元のゴールで制作するブックレビューをスタディノートで作成した。それを掲示板に投稿して共有する活動を取り入れることで、総合的な学習の時間だけでなく、各教科の中で情報スキルの習得を図ることができた。

2 情報モラルに関する取組

本校で情報モラルに関する取組として、情報スキル同様に、守谷市小中一貫情報教育年間指導計画に記載されているモラルの指導事項について各学年で習得を図った。そこで、教師が指導する補助資料となるように、ホームページ上から得たモラル教育に関する内容を冊子にまとめ、教師がこの冊子を見ながら情報モラル教育に活用できるようにした。1学期には高学年と保護者対象に携帯電話教室を行い、携帯電話の脅威やチェーンメール、ネットいじめなどについて学ぶ機会を得ることができた。

3 学校独自の取組

本校独自の取組では、今年度導入されたタブレットを活用する取組を中心に行ってきた。まずは授業の中で活用することに力を入れてきた。特に高学年では、様々な教科で活用し、他の学年に伝えしながら校内に広げるようにした。例えば、社会科での水産業について学習する単元では、タブレットを使い、調べた写真や資料を電子黒板に表示しながら発表を行う実践をした。また、国語の言語活動で番組作りを行うときには、グループで発表を録画しながら推敲する実践を行った。他にも体育のマット運動や陸上の動きの確認、総合的な学習の時間の調べ学習、家庭科のミシンの学習、理科の実験の観察など多様な場面で活用してきた。次に、職員集会の中で研修も行った。タブレットや電子黒板の接続方法など使用例を伝えた。さらに、低、中、高学年の各ブロックの中で、情報活用のスキルが高い教師を中心に活用方法を広げていくように努めた。

4 成果と課題

本年度は、タブレットが導入されたことにより、教師の意識の高まりとともに活用実践が多く行われた。その一方で、しっかり使わせることが可能な高学年と、活用が難しい低学年とで使用頻度に差が生まれている。来年度の大きな課題となった。また、情報スキルと情報モラルについて、各学年に指導を任せてしまうことが多かったため、学習に位置づけられる場面を提案し、学校全体で系統的、段階的な指導を行う必要があると感じた。